

平成26年度第6回国立市立学校給食センター運営審議会記録（要旨）

日 時	平成26年6月26日（木）午後2時00分から午後3時50分
場 所	国立市立学校第一給食センター会議室
出席委員	16名
欠席委員	1名
傍 聴	6名
事務局	4名（本多所長、太田主査、久保、横山両栄養士）
議 題	平成26年度事業報告について 平成26年度学校給食費決算報告について 平成26年度事業総括について その他

1. 開会挨拶（谷川会長）

平成26年度第6回国立市立学校給食センター運営審議会を開始いたします。
本日は、ご多用の中出席していただきまして、ありがとうございます。

2. 平成26年度事業報告について

事務局から、具体的には資料に基づき、前回2月19日の審議会の翌日から本日までの給食センターにおける主な事業、放射性物質の測定結果等についての報告を行った。

【主な意見等】

4～5月は雨が降らなくて野菜が高騰したが、そのようなときはどうやって食材を集めているのか。

給食センターでは給食物資登録業者選定委員会が行われており、最低入札価格をした業者から全国の野菜を取り寄せることができる。4月分については国立産の野菜はほとんどないというような影響はあった。入札価格よりも市場が高いときは、業者が赤字になって納めていただいている。

【平成26年度学校給食費の決算報告】

収入の部 予算 2億1,590万5,160円に対して 実際の収入額は2億1,446万1,644円
26年度単年度未収入額(未納給食費)は144万3,516円で、収納率は99.33%。
支出合計額 2億651万9,747円
収入合計から支出合計を差し引いた残額は1,804万3,823円。残額は平成27年度に繰り越す。

その他、小中学校別、年度別、月別。主食副食毎など詳しい内訳の報告があった。

給食費の未納について

平成16年度から平成25年度までの給食費の未納額総額は371件、1,071万678円。これまでも文書や電話による催告、個別徴収等に努めてきたが、長期化により徴収自体が困難な状況にあるのが現実。これらの給食費の未納者に対しては、平成2年の国立市立学校給食センター運営審議会の審議の結果により、納入がなく10年を超えた者、及び5年を超えて市外に転出した者については、不納欠損処分を行うということで確認がされており、この確認に基づき、18件、58万4,031円を不納欠損処分した。なお、平成26年度分の給食費未納者は46世帯54名、355月相当分の144万3,516円である。また国立市では揚げ物で使用した廃食油をリサイクル業者に売却しておりそれによって雑5万8,435円の売却収入がある（雑収入として計上）。揚げ物で使用した油はリサイクルにより、道路の白線や黄線などのインクの材料となっている。

二中の宮城委員と三中の中西委員より平成26年4月1日から平成27年3月31日までの学校給食費収支状況が適正に処理されているとの監査報告。

質問・意見

給食費の未納について、小学校が27世帯、中学校19世帯ということだが、これは生活が困窮されている方なのか。どのような理由で未納になっているかわかれば知りたい。

電話催告、訪問催告、及び本人、保護者の方と接してしまして、ほとんどの方については生活が苦しくて払えない方である。

その場合は、救済措置があるが、そういうものは使われないのか。

就学援助あるいは生活保護という福祉的な制度がありそのご案内はさせていただいているが、就学援助も生活保護も、強制的に申請させるということとはできない。

強制的なものでなくとも、公式な扶助があるのであれば、積極的にもうちょっとかわり合っていくということが大切ではないか。

【平成26年度事業の総括について報告】

食の安全安心の確保については、生鮮食品は基本的に国内生産で産地が明らかなもの、果物は国内生産のもので低農薬のもの、加工食品等は食品添加物や遺伝子組み換え食品の使用を極力抑えた、材料の配合割合などが明らかなものを使用。地場野菜は全使用野菜の30%以上の利用割合を目指している。65検体の細菌等検査と109検体のO-157検査、外部機関および給食センター独自の放射能検査を実施し、丁寧な食材の洗浄の励行、測定の結果を保護者へ情報提供。外部機関による放射能検査は110検体。

献立の内容の充実につとめ、適切な栄養の摂取、旬の食材の使用、米飯給食の拡大、児童生徒が喜ぶ献立、苦手な食材の克服という視点で献立を作成した。米飯給食の回数は小学校が週3.49回、中学校が3.26回と、週3回の目標を達成した。

食物アレルギーへの対応については、小学校56名、中学校18名の保護者にその成分内容と含有量の詳細資料を提供した。また、調布市で発生した事故を受け、学校と協議をする中で、学校及び保護者との情報共有をはじめとした連携体制を図っている。

衛生管理の徹底については、給食センターでは幸い46年間、食中毒は1回も発生していない。職員・パートの衛生管理を徹底し、年4回、衛生講習会を実施。職員の細菌検査は月2回、年24回実施。

その他、食育の推進、給食費の徴収事務の徹底（結果、現年度、過年度の給食費の徴収率向上）

安全管理の徹底を図るための施設整備の維持、改善として810万740円を予算執行等の報告がありました。

質問・意見

加工食品の添加物や遺伝子組み換え食品の使用を極力抑える、との目標が掲げられているが、もう少し具体的に、一切使っていないのか、数%くらいは使用しているのか、数値で示すのは難しいかもしれないが「極力抑える」より詳しい表現が可能であれば、知りたい。

数値ではっきり申し上げることはできないが、調べられる範囲で業者に加工食品は原材料も含めて遺伝子組み換えでないか、どこ産地か等は極力調べており、添加物、遺伝子組み換え食品使用の疑いがある場合はその物資はなるべく使っていない、という表現になるかと思う。

放射能検査について、今年度は110検体の検査予算が取られたわけで、とても評価している。次年度以降もこの体制は変わらず続けてほしい。加工食品は原材料の産地が明らかに出来ない場合が多いので、不明なものについて積極的に検査をお願いしたい。海産物、根菜、きのこ類、れんこんなど、セシウム検出の傾向はすでに明らかでセンターでも把握されている。これらについて次年度も今のおり検査の徹底をよろしく願います。

今後も今までの体制は変えずに、検査を徹底していく。予算も確保されている。

学校現場では、特に中学校では、給食の時間が実質10分前後しかなく、急いで食べざるを得ない、食べたくても食べきれない、という問題がたびたび出ているが、一向に改善されない。給食をつくる側では食材の安全の徹底や献立の工夫などに熱心につとめてもらっているのに大変に残念なことである。給食センターからももう少し積極的な働きかけがあってもいいのではとも思う。

20分の給食時間をほぼ確保していると聞いているが、平成27年度の審議会に引き継ぎ、食育の観点についても、教育の中で積極的に取り組むべき内容だと位置づけられているので、給食センター、教育委員会、学校を含めて、何か働きかけができないかということを考えていきたい。

食材の細菌検査、職員の細菌検査、それぞれどういう細菌の検査をしているのか。カンピロバクターは検査しているか。

ボイル野菜の一般生菌と黄色ブドウ球菌、大腸菌群を検査している。職員の細菌検査は、病原性大腸菌と腸内細菌4種類である。カンピロバクターは検査していない。

食物アレルギーの診断は医師の診断した生活管理指導表に基づいてきちんと把握されているのか。学校及び保護者との情報共有、医師との情報共有を行なっていないと、調布のような事故はたびたび起きるわけではないとはいえ、給食センターだけでなく学校を含めて対応しなければならない大事な問題であるが。

平成27年3月に国から出されたアレルギーに対する対応指針をもとに、国立市でも取り組んでいく。まだ確定していないが、国立市教育委員会として、国立市において国の指針とはまた別に、国立市の対応指針を作成しようと考えている。教育総務課、学校指導課、給食センターともども連携して、対応指針を作っていく。

給食センターの建てかえ、もしくは大規模改修について検討され続けてきたが、今後各校方式、または親子方式だとか、センターではなくてそういう方式を長いスパンで実現していく構想は、これから検討できないだろうか。

いろいろな意見があり、自校式、センター方式、両方のメリットデメリットを今年度中に検討

し、案として示していく。給食センターの整備計画は、今年度から動き始めたところなので、検討したい。

- ・地場野菜について、小さい農家からも地場野菜を集めて使うシステムを構築できないか。
- ・給食費未納問題への対応について、埼玉の方では払わなかったら給食止めますと通知したら、効果があったそうだが、支払いの徹底のために何か考えてみたらどうか。
- ・BSE以来食材にあげられていない牛肉の使用について、給食物資登録業者選定委員会で話し合われてはという意見に対し、牛肉の産地や検査など再開についての疑問等の審議がなされました。

最後に、今年度最後の運営審議会ということで審議委員全員が任期を終えての感想、挨拶を述べ合いました。

【給食センター事務局挨拶】

平成27年度の運営審議会も、課題については引き続き解決に向けて取り組んでいきます。特に給食センターの更新計画については、児童・生徒の保護者だけではなく、中間報告での市民説明及び年度末に給食センター整備計画案のパブリックコメントもしたいと思っております。今後とも、情報提供をしていくので、よろしく願いいたします。